

## 令和5年度「市長と語り合う会」について（匹見上地区）

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和5年 4月17日（月）	匹見タウンホール	18:30～19:00	7	2	9

- 市側出席者  
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

### 2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
  - ・ 会の趣旨説明
  - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

#### 1. 令和5年度 施政方針の考え方

##### ・ウィズコロナからアフターコロナへ

新型コロナウイルス感染症が少しずつ治まり、日常生活もコロナ前の状況に近づきつつある状況になっている。3月13日からマスクの着用については、基本的に個人の意思に任せるという政府の方針が示され、また5月8日には、感染法上の位置づけが、現在の2類相当から5類に引き下げとなり、普通のインフルエンザと同じような扱いになる。ただ政府では、今しばらくは、ワクチン接種を行うようであるし、いきなり治療が自己負担になるかどうか未確定なところである。

3年余りにわたって、自粛や縮小されたてきたイベントについては、少しずつ元に戻りつつあると感じている。人と人が接する機会による地域の賑わいは、大切なものなので、少しずつウィズコロナの生活からアフターコロナ、コロナは終わったという状況になっていくようにしていきたい。もちろん感染の状況等見ながら取り扱いについて慎重に考えていきたいと思っている。

##### ・持続可能な未来都市の実現

地域そのもの、あるいは世界そのものが持続可能なものにする、それ自体大きな課題となっている。地球全体のことでいうと、温暖化により、以前であれば数十年に1回の大雨が毎年のように日本各地で発生している。

感染症についても、新型コロナは、100年に1回のパンデミックとされているが、それ以外にも、ジカ熱やエボラ出血熱のような新しい感染症も起きたところで、今後こういった感染症がさらに新しく出てくるのではないかとされている。

エネルギーに関して、石油等の化石燃料が数十年後には無くなるといわれている。

それから、21世紀に入り大きな戦争はないかと思われてきたが、昨年、ロシアがウクライナに侵攻し、未だにその戦争が続いている。

また、地域を見ても、人口減少と少子高齢化が進んできている。その一方で、人材が都会へ流出している状況もある。このような人口減少が地域の産業の衰退、あるいは空家問題等の原因となっており、地域交通においても、地域のバスや鉄道の利用者数の減少であったり、飛行機についても、便を充実するのになかなか難しい状況となっている。

道路等のインフラについても、そもそも整備が遅れているし、その一方で老朽化という問題も出てきている。

市の運営においても、財政状況は油断を許さないところであり、今後の市の取り組みが順調に進むためにも、財政を良好に保つことが必要となってくる。

今お話しした、これらをすべてひっくるめて持続可能なまちにしていくということであり、そのためには、新しい技術や取り組みが必要となる。

例えば市では、今年度から窓口での亡くなられた際の手続きを、出来るだけ1カ所で済むよう

な体制をとっている。また、デジタル技術を利用して行政手続きの効率化、市民へのサービスを充実していくデジタルトランスフォーメーションを推進し、新しい技術を使って市の行政運営を持続可能にしていきたいと考えている。

それから教育についても、ここ匹見では、小学校と中学校を同一校舎で行う小中一貫教育を進めていただいているが、市全体としても、中学校と高校の併せて6年間を一貫した形で行う中高一貫教育の取り組みを今進めている。これまで、小学校の就学前から中学校までふるさと教育を進めてきたが、その後高校に進み、さらに就職や大学に進学した後、将来的に益田市に帰り活躍してもらえるような取り組みを、中学校、高校を合わせて行うということである。また、併せて学力を高め、子供たちの選択肢が狭ばまらないように進めていきたい。現在のところ、島根大学や松江高専の学生に、小学生、中学生の算数数学を見てもらう、パワーアップ教室という取り組みを行い学力の底上げを図っているが、令和5年度は、市内の高校と連携し、小学生、中学生の学力の底上げを行い、それを高校に繋げていくという取り組みを始めていきたいと考えている。

## 2. 令和5年は様々な節目の年

### ・JR益田駅開業100周年

大正12年4月1日にJR益田駅が開業した。この時に山口線が益田駅につながり全線が開通した。昨日、益田駅において100周年の記念式典やイベントが行われた。大正12年という年は、その年の12月に山陰本線も東から益田駅までつながり、益田駅が山陰本線の停車駅となった年でもあり、鉄道路線が急速に充実した時期だった。

### ・萩・石見空港開港30周年

空港についても、平成5年7月2日に開港しているので、今年が開港30周年になる。7月に開港30周年を記念した式典やイベントをANAや島根県、近隣市町と連携して行うこととしている。

### ・柿本人麿没後1300年

柿本人麿は、益田市ゆかりの万葉の歌人であり、今年が没後1300年に当たるとされており、短歌の関係の方、神社の関係の方等々でいろいろなイベントが行われる。市としても、イベントに対して協力し、市の文化の一つの発信としていきたいと考えている。

今年は、このような節目がいろいろと重なった年であるので、いろいろな機会でも益田市のまちづくりの機運を盛り上げていきたいと考えている。

## ○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 林業後継者の確保について (1)
- ② 林業後継者の確保について (2)
- ③ 民生委員の活動について

## ○ 閉会 (秘書課長)

## 令和5年度「市長と語り合う会」

〔会場 匹見上公民館 開催日時：令和5年4月17日（月）18:30～19:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 林業後継者の確保について (1) 林業関係の仕事をしているが、後継者の確保について、ハローワーク等にも相談しているが、地理的なこともありなかなか集まらない。なんとか若者を呼びたいと思っており、無料の住宅や、社宅設置等も検討しているが、市として何か支援して頂くことはできないか。</p> <p>② 林業後継者の確保について (2) 農林大学校の林業科は、東部で行われているが、西部でも林業カレッジ等取り組んでいたが、まずは山に興味を持ってもらい、足を運んでもらうような取り組みを行ってほしい。</p> <p>③ 民生委員の活動について 民生委員としての活動に伴い、匹見に住所はあるが、住んでいる所は別（地域外）である場合、いろんなことに関し民生委員の活動で難しい面が出てくる。</p>	<p>① 貴社においては、市が旧匹見町時代から取り組んでいた林業を代わって行っていただき、何とか運営が円滑に進むよう最大限支援させていただきたいと考えている。林業については、少しずつ注目され、県も後継者の確保に力を入れており、市としても匹見の豊富な林業資源を活用し産業振興や定住人口の拡大に結び付けていきたいし、ご意見については、今後の取り組みの中で意識していきたい。現在の取り組みとしては、空家バンク制度や空家の改修に対する助成制度があり、活用していただくよう周知を図りたい。また、活用できる住宅等の資産についても、ご希望があれば前向きに検討したい。</p> <p>② 担い手の確保ができるよう、農林大学校の取り組みや、他にもいろいろと考えられるので、今後、参考事例やご意見を伺いながら対策を考えていきたい。</p> <p>③ 生活の本拠があるところに移していただくことが本来であるが、この件については、個別のケースでもあるかと思うので、匹見地域総務課の方で相談を伺わせていただきたい。</p>